

第1学年 組 「道徳」学習指導案

| | |
|------|-------|
| 指導者 | 平野 幸秀 |
| 内容項目 | 4-(8) |

| | |
|---------|---|
| 主題名 | 郷土愛 |
| ねらい | 地域社会の一員として郷土に対する認識を深め、郷土の発展にかかわっていかうとする態度を養う。 |
| 資料名 | 「陶聖 板谷波山ーすべては美しいうつわを生むためにー」 (生徒用テキストNo18) |
| 主題設定の理由 | 陶聖と呼ばれる本県出身の陶芸家、板谷波山の夢と誇り、陶芸家としての厳しさに触れながら、波山自らを育ててくれた故郷への強い思いを伝える。 「ふるさと(郷土)」を愛し大切にすることは、自分たちが生活している「ふるさと(郷土)」をつくりあげてきた伝統や文化に触れ、先人や高齢者等への尊敬の念を深めることで、自らの在り方生き方を考えさせることができるのではないかと考え、本主題を設定した。 |

展 開

| | 学習活動 (発問) | 指導上の留意点 (予想される生徒の心の動き) |
|--------|--|---|
| 導 入 | <ul style="list-style-type: none"> ○ 「ふるさと(郷土・茨城)」について考える。 <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 5px 0;"> 「ふるさと(郷土・茨城)」で思い描くことをイメージする。 </div> | <ul style="list-style-type: none"> ・自分の生まれた地 ・懐かしい記憶 ・遠く離れた記憶 ・大切な場所 郷土を思い描く時、温かい気持ちが醸成されるように導く。 |
| 展 開 | <ul style="list-style-type: none"> ○ 今日の資料「陶聖 板谷波山」を読み、板谷波山の心について考える。 <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 5px 0;"> 東京に住む波山にとって故郷・茨城はどのように見えていたのだろうか。 </div> <ul style="list-style-type: none"> ・離れていても、自分が帰るべき場所 ・自分を育ててくれた場所 <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 5px 0;"> 自分の仕事を投げ打って故郷の人々に奉仕しようとした、波山の心を突き動かしていたものは、何でしょう。 </div> <ul style="list-style-type: none"> ・自分の大切な人を守りたい気持ち。 ・自分の大切な場所を守りたい気持ち。 ・自分を育ててくれた郷土の役に立ちたいという気持ち。 <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 5px 0;"> 波山にとって、ふるさと(郷土)とはどのようなものだったのでしょうか。 </div> <ul style="list-style-type: none"> ・心のよりどころ。 ・生きる支え。 <ul style="list-style-type: none"> ○ ふるさとへの想いはどこからでてくるのかを考え、班の中で発表し合う。 ○ 友達の考えを聞いた後、感想を書く。 | <ul style="list-style-type: none"> ・波山の心の動きを理解するために、波山の年譜を簡単に説明する。 ・波山を通して、故郷を考える。 (自分を育ててくれた地) (故郷への感謝の気持ち) ・陶芸家となった後も自分を支えてくれたという気持ちをもっていた波山にふれる。」 ・ありのままの自分を見つめることが大切であることを理解させる。 一所懸命生きているから、ふるさと(郷土)への想いや感謝の気持ちが沸いてくる、辛い思いをしながら、どれだけ夢を追い続けたかにより、ふるさと(郷土)への想いが異なってくるなど、多様な意見がでるように導く。 |
| 終 末 | <ul style="list-style-type: none"> ○ 郷土に対する思いを込めた教師の話を聴く。 | <ul style="list-style-type: none"> ・自らの生命が、郷土とつながっていることに気付く。 ・この時間の感想を書く。 ふるさと(郷土)があるから今の自分がいる。 自分の生まれ育った地に感謝している。 |
| 評 価 | <ul style="list-style-type: none"> ・波山の生き方から、ふるさと(郷土)の大切さに気付くことができたか。 ・自分を育ててくれたふるさと(郷土)を愛し、その発展にかかわっていかうとする心情が育ったか。 | |
| 備 考 | <ul style="list-style-type: none"> ・必要に応じて学級担任との連携で、生徒本人と面談をしたり、授業の中で、教師が自分の生き方を自己開示する。 | |